

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	食品企業論						授業形態		講義	
科目コード	276900	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長田 隆								ICT活 用	○
授業概要	本授業は、食品企業が、市場で生き延びて行く活動（社会的責任、製造、品質管理、商品開発、マーケティング）を通して、食品企業とはどのようなものかを学びます。 食品メーカーで勤務した経験を活かし、業界地図、食品業界の歴史、食品企業の生産性。企業組織形態を学び、グローバル化や国内の少子高齢化への対応、食品業界のM&A動向についても学ぶ。 食品企業には、容器、製造機器、添加物、さまざまな素材メーカーなど、多くの食品関連企業があります。就職活動をおこなうにあたり、食品関連企業をすることは有益です。 これから就活を展開する学生に有益な視点を提供します。									
関連する科目	本授業の履修前に受講することが望ましい科目：食品工場見学（演習）									
授業の進め方 と方法	食品企業の多くは体系化したシステムの中で企業活動を継続しており、その活動を理解する上で、各食品製品別に帰属する企業は、各省庁の指導のもとに協会あるいは組合等を設立し参加企業と国民へのコミュニケーションツールとしています。また、協会あるいは組合について調査することが、食品業界の課題が理解できる。 また、過去の卒業生が就職した会社についてその概要（製品、組織、経営等）を調査する。 その調査結果を、随時グループ毎での発表にて評価する。 食品業界にはさまざまな企業が存在しています。食品企業をカテゴリーに分け代表的な企業を選択して、その企業の従業員を講師に招き、企業の活動内容や同業他社状況などを講義して貰います。									
授業計画 【第1回】	ガイダンス									
授業計画 【第2回】	「食に関わる仕事」とは、どのような仕事を業務あるいは会社の組織図を用いて理解する。									
授業計画 【第3回】	文献研究① 「食品製造業が直面するリスクマネジメントとイノベーション」									
授業計画 【第4回】	文献研究① プレゼン発表									
授業計画 【第5回】	食品企業研究① 外部講師による講演									
授業計画 【第6回】	食品企業研究② 外部講師による講演									
授業計画 【第7回】	食品企業研究③ 外部講師による講演									
授業計画 【第8回】	食品企業研究④ 外部講師による講演									
授業計画 【第9回】	食品企業研究⑤ 外部講師による講演									
授業計画 【第10回】	食品企業研究⑥ 外部講師による講演									

授業計画 【第11回】	食品企業研究⑦ 外部講師による講演
授業計画 【第12回】	外部講師による講演を聞いて「まとめ」
授業計画 【第13回】	先輩達の就活研究①
授業計画 【第14回】	先輩達の就活研究②
授業計画 【第15回】	まとめ
授業の到達目標	食品企業関連への就職を目指す学生には、食品業界の変遷や動向、業界で求められる知識や行動について理解できるようにする。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	各企業発表前にHP等で情報入手（1時間程度） 関連する省庁機関（主に厚生労働省、農林水産省、消費者庁、国税庁等）のHP等で情報入手
授業時間外学習【復習】	食品関連協会あるいは組合等のまとめ（1時間程度） 食品企業の概要、組織、訴求内容等のまとめ（1時間程度） 各企業発表後にまとめ（1時間程度）
課題に対する フィードバック	グループ毎にて発表を作成し、その発表に対して、説明を行う。
評価方法・基準	論文研究 外部講師による講演 2つのプレゼン（レポート）提出し評価します。
テキスト	パワーポイントを使用して授業を行う。資料は講義前に配布します。
参考書	必要に応じて、随時提示しますが、食品ビジネス関連の情報雑誌は多数出版されており、興味を持って読むようにして下さい。
備考	